

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

私は、昨年 5 月に当館に着任し、同年 7 月のガインゴブ大統領への信任状捧呈式を経て、これまで日本国大使として、ナミビア政府や当地国際機関、経済界の関係者等、様々な要人と会う機会がございました。

これまでの諸活動を振り返りますと、昨年 9 月には、現地メディア向けの開発協力プレスツアーを実施し、当館が実施する「草の根無償資金協力」の学校施設や JICA が実施する「技術協力プロジェクト」の現場の視察を行いました。実施後、当地メディアにより本プレスツアーが大々的に報道されることとなり、日本政府がナミビアで実施している開発協力事業のみならず、ナミビアが抱える自国の課題も含めて、多くのナミビア国民に幅広く知って頂くことができました。

また、昨年 12 月には、令和 3 年度「草の根無償資金協力」案件である「カラス州アロアブ村地域教育開発センター建設計画」引渡式を実施し、カラス州知事、教育副大臣をはじめ地域住民約 200 名の出席の下、盛大に祝いました。式に出席したカラス州カウンセラー（議員）が供与施設の壁に日本からの支援であることを示す言葉を自ら記すなど、日本の支援に対する深い謝意と今後の関係構築に大きな期待が感じられました。

さらに同 12 月、アンゴラと国境を接する西カバンゴ州においてナミビア政府が FAO とも協力の下、イナゴ被害を受けた農民への引渡式典を実施しました。同州知事及び地域農民からは多大なる感謝をされ、日本の援助がどのように使われていくかにつき今後もモニターしていく予定です。

広報文化活動では、昨年 8 月にオシャナ州オングウェディバ見本市にて、JICA の青年協力隊員の皆さまにご協力を頂き、書道体験や浴衣の着付け体験等の日本文化紹介のブースを出展し、1,000 名を超える方々にご参加いただきました。また、同年 10 月・11 月には、ウイントフック市内映画館にて国際交流基金事業として日本映画祭を開催し、計 4 本の映画上映を行いました。

ナミビアは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会に際してナミビアのホストタウンであった岩手県宮古市や、2019 年ラグビーワールドカップ開催時にナミビア代表チームのキャンプ地であった和歌山県上富田町と交流があります。昨年 10 月の一時帰国中、和歌山県庁や上富田町長役場、和歌山大学等を訪問し、今後のナミビアとの交流について有益な意見交換を実施した他、県立田辺高校にて、ナミビアを紹介する特別授業も実施しました。

経済面では、昨年 8 月にチュニジアで開催された TICAD8 において、JOGMEC(エネルギー・金属鉱物資源機構)とナミビア鉱山・エネルギー省との間で金属鉱物資源およびカーボンニュートラル分野における関係強化を目的とした覚書が締結されました。今後の経済協力関係の促進が期待されます。

本年も、日・ナミビア関係の強化をめざし尽力させて頂く所存です。
皆様の益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

今後とも当館の活動にご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

令和 5 年 1 月 1 日
駐ナミビア共和国特命全権大使
西牧 久雄